

差出人: 大和@産業医大 yamato@med.uoeh-u.ac.jp

件名: 【産業医大タバコメルマガ200305】①日本呼吸器学会「肺の寿命の延ばしかた」改訂 ②片野田先生ラジオ出演 ③AGC
ホワイト500

日付: 2020年3月5日 16:28

宛先: 大和大学メアド yamato@med.uoeh-u.ac.jp



159自治体を含む3857名のタバコ対策担当者様、EBTC会員、名刺交換・講演・原稿依頼をされた方へ 3201-3857
産業医科大学 大和より(知人への転送・拡散・紹介歓迎。不要の方は「不要」とお返事下さい)

①日本呼吸器学会「肺の寿命の延ばしかた」改訂

肺の病気のオースリティ、日本呼吸器学会が一般向けのリーフレットを改訂しました。

「肺は今が一番元気！」タバコでダメージを与えないで、というコンセプトです。

以下からダウンロードもできます(4MB)。送料着払いであれば日本呼吸器学会から郵送もしてもらえます。

<https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/citizen/hainojumyo.pdf>

②国立がん研究センター 片野田先生ラジオ出演

3月3日の放送でした。以下で3月31日まで公開されています。

前半: 改正健康増進法、東京都条例を上手に解説されています。

https://www.nhk.or.jp/radio/player/ondemand.html?p=5642_11_36986

後半: それを聞いた一般人からの質問への回答です。

https://www.nhk.or.jp/radio/player/ondemand.html?p=5642_11_36985

以下、家内が要点をまとめてくれました。ぜひ、実際の音声聞いて下さい。

飲酒のほうが他者への被害が大きい→飲酒は周りのひとに直接害を与えない

仕事なんて選べるでしょう→選べないひともいる。誰かがそこで働かなければならない

海外は、屋内は禁煙で、屋外で吸うひとが多い

→健康被害が確実なのは屋内。苦情が多いのは屋外だったので、法規制がしやすかった。

三次喫煙の健康被害について

→部屋の壁紙、喫煙者の服。喘息などのかたに反応が出る場合があるが、科学的データが蓄積されていないのでわからない。

小さい時から煙もくもくの中で育ったが問題なかった →ラッキーだったのでしょうか。一人だけのデータだけでは判断できない。

法律でタバコの販売を制限したらどうか→プータンでタバコを規制したが、ブラックマーケットができることが問題。

タバコ価格の半分以上が税、タバコの売り上げが減る→年間2兆円。健康を犠牲にして税収を確保するのはどうかと考える。

タバコを味わい、生活の質を上げている。禁煙に懐疑的→今が良くて、ぼっくり死ぬるわけではない。病気になる時、自分の人

生だけではない

タバコをやめる決心をした→今回の法律を一つのきっかけにしてほしい

さすが、国立がん研究センターのがん統計・総合解析研究部長。大変分かりやすい解説でした。

厚生労働省の「通称、タバコ白書」の編集責任者でもあります。著書「本当のたばこの話をしよう」もお勧めです。

③AGCプレスリリース ホワイト500に認定 3月2日

かつての旭硝子です。昨年、丸の内の本社で喫煙対策の講演をしました。

その時の写真が掲載されていました。

↓

最前列に社長と執行役員が着席され、かなり緊張しながらお話ししました。

https://www.agc.com/news/detail/1200461_2148.html

執行部に聴いて頂いたおかげで、担当者から以下の変化がありました、と連絡がありました。

・本社: 新丸ビル内AGC所管の喫煙室を廃止

・工場: 喫煙所数の減少、屋外化の推進(一部工場は屋外化達成済)

吸う場所がなくなれば(特に、丸の内には吸える場所が少ないので)禁煙する人が増えることが期待できます。

以下、プレスリリースの抜粋です。

AGCでは、経営方針 AGC plusのもと従業員に「働く喜び」をプラスするため、

2017年より“人財で勝つ会社”を経営方針の一つとして掲げ、健康経営にも力を入れています。

2018年より「AGCスワンププロジェクト」と題し、受動喫煙防止・喫煙率低下施策を実施しています。

また2019年にはスマホアプリを用いた健康増進のためのウォーキングイベント「AGCワーク」を開催し、

従業員約2000人が参加しました。

AGCグループは、経営方針 AGC plusのもと、従業員の健康保持・増進を経営の重要課題の一つと位置付けています。

今後も健康経営に関わる各種取組みを積極的に実施し、従業員の活力向上、生産性向上、そして組織活性化に努めていきます。

@@

807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 大和 浩